

パブリック・コメント実施結果について

パブリック・コメントにお寄せいただいた意見と、その意見に対する市の考え方を公表します。
貴重な意見をお寄せいただきありがとうございました。

1 意見の提出状況

計画案等の名称	新守谷駅周辺地区バリアフリー基本構想策定(案)		
意見提出期間	令和6年1月10日(水)から2月9日(金)まで		
意見提出者数	7人	意見件数	11件
意見の反映結果	A : 意見の内容が計画案に含まれているもの B : 意見を踏まえた修正・対応をするもの C : 意見または要望として承ったもの		

※ いただいた意見は、概要を掲載しています。

※ パブリック・コメントは、いただいた意見や情報の内容を考慮して施策等の策定を行うものであり、施策等の賛否を問うためものではありません。

※ いただいた意見のうち、本計画案の内容に関する意見ではない所感などについては、関係課に伝達しました。

2 寄せられた意見の概要と意見に対する市の考え方

番号	該当ページ	意見の概要	意見の反映結果	意見に対する市の考え方
1	—	新守谷駅の利用向上のために新守谷大通りにおける交通手段を増設すべきである。 ①自動運転バスの運行 新守谷駅の始発や終電時間帯に合わせての、新守谷駅と第一病院辺りの間に自動運転バスの運行。(現行バスの増便が望ましいが、運転手不足で望めない為) ②動く歩道の設置 新守谷駅と守谷テラス辺りまで、車椅子等も乗れるような、動く歩道の設置。	C	新守谷駅大通りを通過する交通手段の増設については、次のように考えております。 ① 自動運転バスの運行 守谷市では、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議する協議会として、地域公共交通活性化協議会を設置しております。自動運転バスの運行については、要望として承り、新守谷駅周辺地区のバリアフリー化に限定することなく、地域公共交通活性化協議会において検討を続けてまいります。 ② 動く歩道の設置 動く歩道については、技術的な課題、整備費用及び維持管理費用を考慮す

				る必要があることから、現状では設置が難しい状況です。新守谷大通りについては、舗装の改修及び勾配の解消によってバリアフリー化に努めてまいります。
2	—	新守谷駅からの行先駅もバリアフリー化すべきである。	C	バリアフリー基本構想は、重点整備地区を定め、その地区のバリアフリー化を図るもので、重点整備地区は、駅などの旅客施設を中心として設定しています。守谷市内で、新守谷駅からの行先駅の候補として挙がる駅は、守谷駅と南守谷駅です。守谷駅は、守谷駅周辺一体型土地地区画整理事業の際に、エレベーター等が整備されております。南守谷駅は、利用者数および駅周辺の人口動向を勘案したうえで、今後、バリアフリー化を検討してまいります。 なお、その他の関東鉄道常総線の駅については、各々の駅のある自治体においてバリアフリー化事業が任されておりますが、施設管理者である関東鉄道株式会社にご意見があった旨を伝えさせていただきます。
3	P.65 P.67	新守谷駅構内及びロータリーから新守谷歩道橋までのエレベーターを設置して欲しい。 車椅子での移動ができるよう、294号にかかっている歩道橋へスロープを設置して欲しい。	A	特定事業において、「往來の向上」としてエレベーター等の設置を検討していきます。既存の歩道橋等に対して、エレベーター、エスカレーター、スロープ等、費用対効果や利用しやすさを考えながら設置を検討するとしておりますので、ご意見の内容を含んでおります。
4	P.66	ただし書き（「ただし、新守谷駅利用者の実態を考慮し、設備設置後の維持費を国、県及び市と協議の上、取り組む。」）は以下3点の理由から削除すべきである。	B	関東鉄道株式会社との協議の上、以下のとおり修正しました。 「新守谷駅利用者の実態を考慮し、設備設置費や維持費等も含めて総合的に検討しながら、国、県及び市と協議の上、事業に取り組む。」

		(1) 日本語の用法として不適切(「維持費につき…取り組む」で趣旨不明) (2) 内容的に、あたかも、維持費の費用負担を守谷市が担うと読める記載をしているのは不適切である。 (3) 守谷市が「新守谷駅利用者の実態を考慮(する)」としているのは、新守谷駅利用者が少ないことにありと推測するが、国のバリアフリー化目標では1日 3,000 人以上に利用される旅客施設はバリアフリー化を行うとされており、新守谷駅は令和3年度では1日平均 3,004 人であるから、「新守谷駅利用者の実態を考慮(する)」としているのは不適切である。		
5	P.15	新守谷駅周辺土地区画整理事業について、計画概要を記載すべきである。	B	ご意見のとおり、区画整理事業について記載しました。
6	P.15	図2-9が不明瞭なため、差替えるべきである。	B	ご意見のとおり、図2-9を修正しました。
7	—	文化会館前交差点について、安全のため「この先の交差点は車両の直進が可能ですので注意願います」といった看板を歩道に設置すべきである。	C	ご意見いただいた路面標示については、警察との協議により、修正対応がされることとなりました。なお、看板は、交通防災課において、警察との協議により検討いたします。
8	P.68	国道294号の横断歩道と歩道の段差が大きいため、改善すべきである。	A	バリアフリー化を進める道路特定事業(国道294号)において、ご意見の内容は「交差点部の段差解消」に含んでおります。
9	P.10	令和5年12月に国立社会保障・人口問題研究所が自治体別の将来推計人口を公	A	本基本構想における人口の見通しについては、現行の守谷市人口ビジョンに基づいています。当市の人口ビジョ

		表した。公表結果によると守谷市は 2050 年で約 76,000 人と現状から大幅に増加する人口推計となっている。 今回の計画で人口が減少していく記述があるのは矛盾するのではないか。		ンも国立社会保障・人口問題研究所の推計をベースとしていますが、移動率や出生率等の当市の特殊事情や過去の推計根拠を踏まえて補正を加えた人口ビジョンとなっているため、将来的に人口が減少していくものと想定しています。
10	P.65	特定事業について、進捗を広報等で知らせて欲しい。	C	特定事業の進捗については、HP 等で周知させていただきます。
11	P.65	特定事業の実施において、特別な利益を受ける者がいると考えられる事業は、受益者負担を検討してほしい。また、公共施設の改修についても受益者負担を組み合わせ進めて欲しい。	C	ご意見のとおり、費用負担については受益者負担等も含め、検討させていただきます。